

災害発生時の対応手順

【原則】

子どもと会員の生命の安全を最優先する
二次災害が発生しないよう、安全最優先の行動を選択する
受けた被害を早く復旧し、早く日常の生活を取り戻す

緊急事態の対象になる災害の発生

ファミリーサポートセンター

提供会員活動開始前---依頼会員、提供会員に活動中止を周知する。

提供会員活動開始後 提供会員、預りの子どもへの安否確認する。

預り不可能の場合 依頼会員にお迎えをしてもらうが、本人が迎えが無理な場合、親族にお願いする。状況を鑑みてセンター側で善後策を検討する。

依頼会員

活動開始は？ 活動中止の連絡を受ける。

活動開始後 提供会員の安否確認、被害の有無を聞く。

被害が無かった場合 預りの継続可否の確認をする。

被害があった場合 預りの継続が不可能になるので迎えに行く。

本人がお迎え不可能な場合 親族にお願いする。

状況によってセンターに善後策を検討してもらう。

提供会員

活動開始前 活動中止の連絡を受ける。

活動開始後 被害が無かった場合

預りの継続可否 可能の場合は依頼会員に伝える。

不可能の場合 お迎えの可否を聞く。

本人が無理でも親族にお願いする等、お迎えに来てもらう。

状況を鑑みてセンター側で善後策を検討する。

被害があった場合

預り不可能を伝え、依頼会員にお迎えの可否を連絡する。

お迎え可能の場合 依頼会員のお迎えまで預りを継続する。

状況により、子ども自身の安全を最優先に避難を開始する（自力で避難しがたい場合は、警察・消防へ救助を求める）

依頼会員とセンターに連絡する。 （参考資料 女性労働協会）

災害発生時の対応手順

【原則】

子どもと会員の生命の安全を最優先する
二次災害が発生しないよう、安全最優先の行動を選択する
受けた被害を早く復旧し、早く日常の生活を取り戻す

緊急事態の対象になる災害の発生

依頼会員

活動開始は？ センターより活動中止の連絡を受ける。
活動開始後 提供会員の安否確認、被害の有無を聞く。
被害が無かった場合 預りの継続可否の確認をする。
被害があった場合 預りの継続が不可能になるので迎えに行く。
自分がお迎え不可能な場合 親族にお願いする。
状況によってセンターに善後策を検討してもらう。

提供会員

活動開始前 センターより活動中止の連絡を受ける。
活動開始後 被害が無かった場合 預りの継続の可否 可能の場合依頼会員に伝える。
不可能の場合 依頼会員のお迎えの可否を聞く。
依頼会員本人が無理でも親族にお願いする等してお迎えに来てもらう。
状況鑑みてセンター側に善後策を検討してもらう。
被害があった場合 預り不可能を伝え、お迎えの可否を連絡する。
お迎え可能の場合 依頼会員のお迎えまで預りを継続する。

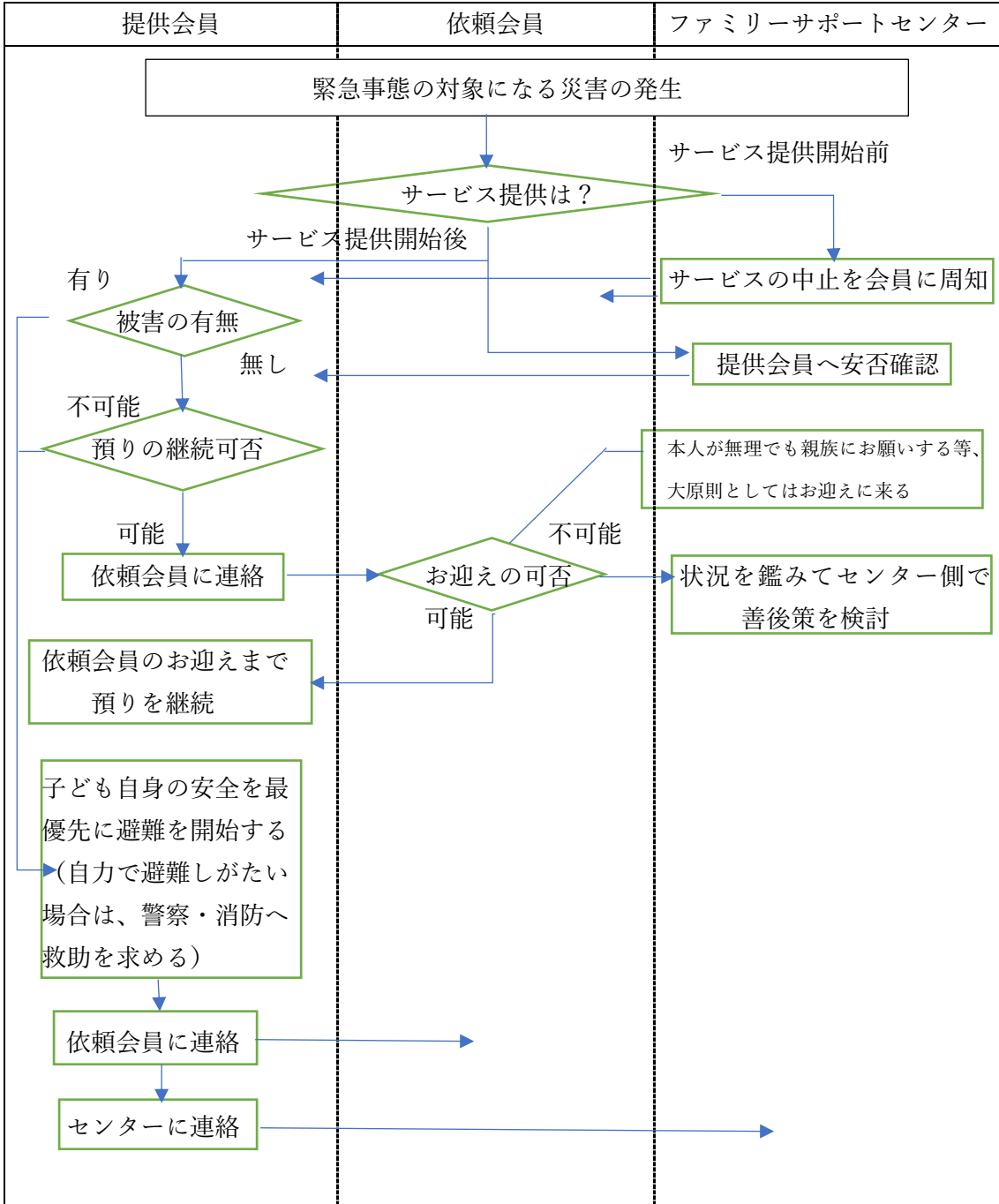
状況により、子ども自身の安全を最優先に避難を開始する（自力で避難しがたい場合は、警察・消防へ救助を求める）
依頼会員とセンターに連絡する。

（参考資料 女性労働協会）

災害発生時の対応手順

【原則】

- ・子どもと会員の生命の安全を最優先する
- ・二次災害が発生しないよう、安全最優先の行動を選択する
- ・受けた被害を早く復旧し、早く日常の生活を取り戻す



(「女性労働協会」引用)